

Q 思修館の魅力は？

A 物事の本質に迫れる場がある

多様な専門分野と経験を持つ人が集まる思修館には、世界の複合的な課題に対して解決策を考案し、関係者の協働を促す場があります。実務と研究の垣根をつくらず、多様な組織を見てまわりインプット・アウトプットを繰り返し、一面的ではない見識から構造を理解できる人材を育てています。

Q 修了後の進路は？

A ポーランドやトルコで人道支援活動

人道支援の最前線で経験を積むため、修了後、人道支援活動を行うNGOで働いています。2023年はウクライナから逃れた人たちを受け入れるポーランドや、トルコ地震の被災地などで活動。入職1年目でまだまだですが、より早く、きめ細やかに高い水準で事業形成ができるようになりたいです。



博士号を取り今年から人道支援を担う現場の最前線へ

修了生
シャンティ国際ボランティア会
夫津木 廣大さん

Q なぜ大学院に進んだの？

A 「矛盾を抱えた世界」を学びたい

高校生の頃、国連難民高等弁務官事務所 (UNCHR) の職員の手記を読んで国際協力や難民支援に関心を持つようになり、京都大学法学部在学中に国際関係論や政治学を勉強しました。矛盾を抱えた世界の現実を知り、より学びを深めたいと思い、思修館への進学を決めました。

Q ゼミ・研究室の雰囲気は？

A 研究内容を発信する機会が多い

在学中、学内外で何度も研究成果を発表する機会がありました。特に合宿型研究施設での生活は貴重で、毎日が対話やプレゼンの訓練の連続でした。学外で経験を積めるプログラムも多く、2年次のサービ斯拉ーニングでミャンマーへ行き、日本のNGOの国際協力事業の調査を行いました。

Q 研究テーマは？

A 難民や被災者の権利を守る

博士論文のテーマは「人道支援における人権保護～責任アプローチの概念と実施可能性」。3年次に休学して外務省専門調査員として在エジプト日本大使館で働き、マクロ経済分析や援助政策の調査をしました。エジプトの団体でインターンをした「武者修行」ではシリア支援について考えました。

先生から



アカデミックな知識を現実の課題に適用可能とする

ディミター・ヤルナゾフ先生
総合生存学専攻 教授

教員と学生が共に取り組む例として、私が主宰する「持続可能な経済研究会」や他の教員が担当する「国際開発研究会」などの「複合型研究会」が挙げられます。「複合型研究会」では分野横断的なアプローチで実践的な研究に取り組んでいます。地球規模課題や社会課題の解決に関心がある学生の出願をお待ちしています。



思修館以外の大学院生も議論に参加する自主勉強会

京都大学

大学院総合生存学館(思修館)



3階には第三研修施設もある思修館

Info 学校情報

取得可能な学位 修士、博士(総合学術)

定員: 20人
学費: 入学金28万2,000円
授業料53万5,800円

入試情報 自己アピールビデオ

学生募集は4月入学のみ。出願には英語のスコアや志望理由を含む小論文の他、3分間の自己アピールビデオが求められる。奨学金制度あり。

修了生の主な進路先

- 国連食糧農業機関 (FAO)
- 世界知的所有権機関 (WIPO)
- 東アジア・アセアン経済研究センター
- 外務省
- 九州大学
- アクセンチュア
- アステラス製薬
- PwCコンサルティング 他

世界の課題に挑む5年一貫の博士課程大学院

グローバルリーダーの養成を目指す総合生存学館(通称: 思修館)は、5年一貫制の博士課程大学院。多様な経験や専門性を持つ学生が、合宿型研修施設で公私を共にしながら、地球規模課題や社会課題の解決を目指す。研究分野は多岐にわたり、複数指導教員制度・メンター制度の下、一人一人に応じたテラーメイド型のカリキュラムが採用されている。特徴的なカリキュラムの1つである「八思」は、医業・生命、情報・環境、理工、人文・哲学、経済・経営、法律・政治、語学、芸術の8分野を指し、専門分野以外の7分野から講義を履修。社会を俯瞰的に捉え、国内外の実践者と討議できる知識や提案力を養う。

1、2年次には地域でのボランティア活動や開発途上国などでフィールドワークを行う「サービ斯拉ーニング」、国際機関や行政、企業などのリーダーと討論する「熟議」がある。3年次以降の「武者修行」では国際機関や多国籍企業、国際NGOで実践的に学び、その後の「プロジェクトベースリサーチ(PBR)」では、課題解決型のプロジェクトを提案・実践し、博士論文にも組み込まれる。2020年に設立されたソーシヤルイノベーションセンターでは、分野横断型の研究と実践、すなわち「総合生存学」の概念を発展させ、実践的な社会貢献活動を実施している。